

令和3年度 地域生涯学習活動実践交流セミナー実践発表

# 交流が生み出す地域とのつながり

厚沢部町教育員会

社会教育係長 板 坂 勇

# 1 厚沢部町（檜山管内）の紹介



- ▶ 人口 3,607人 1,850世帯（令和3年12月現在）
- ▶ 北海道の南端、渡島半島の中央部に位置
- ▶ 「土橋自然観察教育林」やオートキャンプ場「ハチャムの森」などの自然を生かした観光資源
- ▶ 築城開始からわずか2ヶ月半で落城した史跡館城跡

『すきな』まちに『て』を加えた  
『すてきな過疎のまちづくり』に取り組む

## 2 地域課題

(1) 増加する高齢化率

高齢化率(65歳以上)

2015年 38.4% → 2021年 43.3% (6年間で約5%の増加)

**各団体・地域のリーダー人材も高齢化**



**リーダー的人材の担い手が不足**



(2) 新型コロナウイルスの影響による交流機会の減少

**地域の祭りや敬老会などの行事が減少**



**交流機会の減少による地域とのつながりの希薄化が懸念**



### 3 課題解決に向けて

- (1) 「地域とのつながり」 = 「人と人とのつながり」  
⇒世代間交流を企画
- (2) 世代間交流からリーダー的人材の担い手を発掘

# 世代間交流のメリット

## (1) 子ども

⇒高齢者との交流により生活の知恵や礼儀などの学習機会が生まれる

## (2) 保護者

⇒子育てに関する情報交換や相談の機会が生まれる

## (3) 高齢者

⇒これまでの知識を子どもに教える機会が生まれる  
=自身の存在価値を確認する機会（生きがいの創出）

## (4) 地域

⇒地域の方々の顔や名前を知る機会が生まれる



## 4 事業のねらい

- 高齢者サロンと町内小中学生とその保護者の3世代交流によりそれぞれのメリットとなる機会を提供する
- 地域の交流の重要性を認識するきっかけをつくる
- リーダー的人材の発掘

## 5 「親子で体験！高齢者サロン交流会」 の概要

実施日時：令和3年11月28日（日）  
9時30分～11時30分

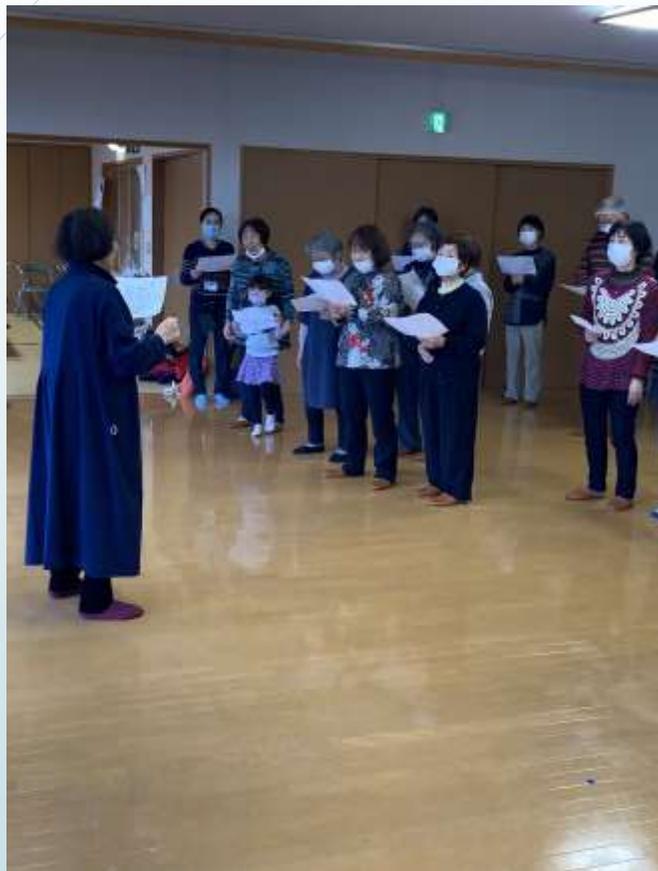
会 場：赤沼町ふれあいセンター

参 加 者：小学生4人（未就学児1人）  
保護者4人

高齢者サロン会員14人

周知方法：小中学生へは町内小中学校から配付  
高齢者へはサロン時周知

# 事業の様子



▶ 参加者全員による合唱



▶ 書道教室

# 事業の様子



▶ 昔の遊び（お手玉）



▶ カーリンコン

## 6 成果

### (1) 事業終了後のアンケート結果

① 「地域の方との交流は楽しかった？」

⇒ 「楽しかった」との回答100%

・年に何回か開催してほしい（保護者）

・子ども達と久しぶりに遊べて楽しかった（高齢者）



**事業内容の満足度は高い**

② 「地域との交流は大切だと思う？」

⇒ 「大切だと思う」との回答100%



**地域との交流（つながり）の大切さに気付くきっかけとなった**

## 7 課題

- (1) リーダー的人材の担い手の発掘ならず  
⇒参加者が少ない（保護者4人）



回数を重ね担い手となる人材を発掘



## 8 次年度に向けて

- ▶ 子どもや保護者が望む事業内容の把握
  - ▶ リーダー的人材の発掘方法についての工夫
- 